



島根県

広島県

岡山県

浜田城

郡山城

新高山城

福山城

広島城

三原城

岩国城

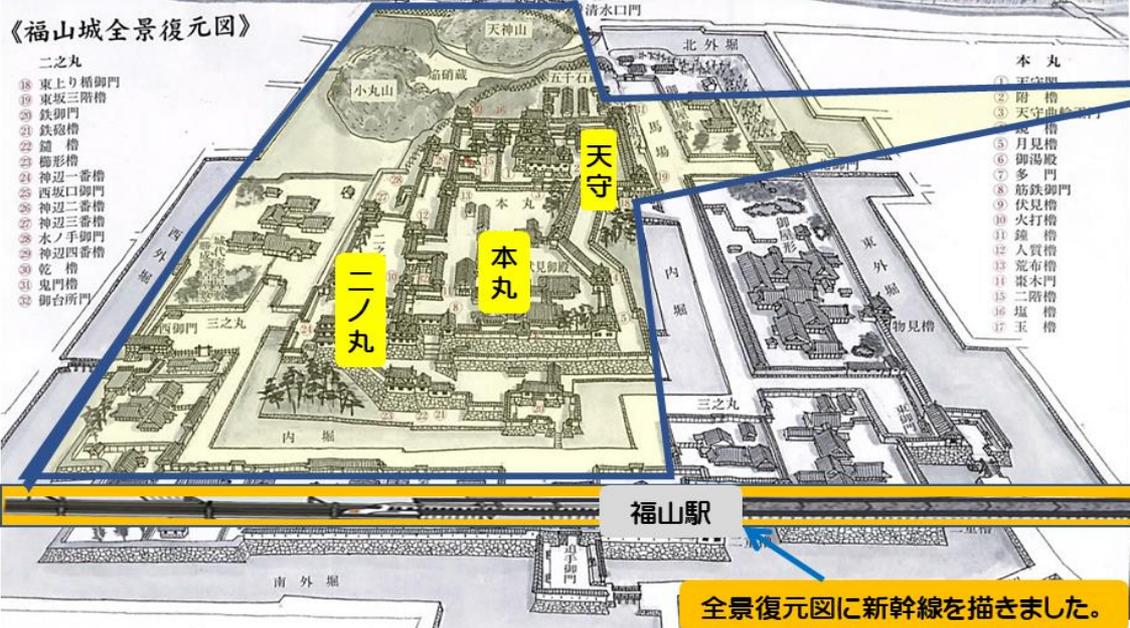
# 71 福山城

--- 100名城 ---  
2020.11.18



別名:久松城(ひさまつじょう)、葦陽城(いようじょう)

JR福山駅構内から外へ出ると、いきなり目の前に福山城が飛び込んできます。びっくりです。ここも甲府城、小諸城etc.同様、お城跡内に線路が横切っています。しかも、新幹線・在来線の両方です。私が見学時のこの時は、ちょうどお城及び周辺の改修工事中でして、肝心の本丸跡や天守などは見られず、この公園周辺をぐるっと見て回るしかありませんでした。残念無念！  
しかし、良いことも！ 駅前のちょっとした広場で自撮り棒でお城をバックに撮影してしましたら、親切なお母さんが「写真撮ってあげましょか？」と声をかけてくださり、甘えることにしました。広島の人優しい



- 《福山城全景復元図》
- 18 東上り櫓御門
  - 19 東坂三階櫓
  - 20 鉄砲櫓
  - 21 鉄砲櫓
  - 22 櫓
  - 23 櫓
  - 24 櫓
  - 25 神迎一番櫓
  - 26 神迎二番櫓
  - 27 神迎三番櫓
  - 28 水ノ手御門
  - 29 神迎四番櫓
  - 30 乾 櫓
  - 31 鬼門櫓
  - 32 御台所門

- 本丸
- 1 玉置櫓
  - 2 附 櫓
  - 3 天守山御門
  - 4 月見櫓
  - 5 多 門
  - 6 筋鉄御門
  - 7 伏見櫓
  - 8 火打櫓
  - 9 鐘 櫓
  - 10 人買櫓
  - 11 荒布櫓
  - 12 櫓
  - 13 櫓
  - 14 櫓
  - 15 櫓
  - 16 櫓
  - 17 玉 櫓

福山駅 新幹線内

在来線ホームからお城を臨む

# 72 郡山城跡

--- 100名城 ---  
2020.08.06



別名: 吉田郡山城

吉田郡山城は、中国一円を支配した戦国大名 毛利元就の本城でした。山一帯に曲輪が形成され巨大な山城でしたが、毛利輝元が広島城へ移ると郡山城は支城の1つとなり、関ヶ原の敗戦で毛利家は国替えとなり郡山城も廃城。



FB - 097

2020年夏、山陰地方3県を車で巡り帰途、ついでにこの郡山城跡に寄ってみました。

真夏の山歩きは、目に纏わりつくコバエ(ヒゲトコバエ・別名クロメマトイ)に悩みながらの登城となりました。今後のこともあるので、コバエについて調べましたので下記に示します。

一口メモ--- ヒゲトコバエについて！

このハエは目だけでなくカメラのレンズなど、黒くつやつやる物に反応するようです。対策は、眼鏡をかけるのがよいです。またハッカ油が効果有りとかかれているものもあります。今年の夏はメントール(ハッカ油の有効成分)の入ったのと詣で確かめたいと思います。



## ◆◆◆ 日本百名城 郡山城・城下町案内図 ◆◆◆



三矢の訓跡碑



古絵図



郡山城ジオラマ

立て看板の案内図

# 73 広島城

--- 100名城 ---  
2020.11.19



別名：鯉城(りじょう)、当麻城(たいまじょう)

広島城は、現在見られる城内の天守以下城郭建築はすべて1958年以降に再建されたものです。  
名古屋城、岡山城と共に日本三大平城に数えられる。



明治時代の大天守絵葉書

広島では2泊にて、平和公園と厳島神社にも足を延ばして、ゆっくりと観光を楽しみました。

原爆ドームが補修工事中で、今まで画像でしか見ることが出来なかったドームを見れなかったのが残念でしたが、平和記念館では展示・解説など映像・写真・遺品などの直視できないものを目の当たりにし、戦争・原爆の恐ろしさを痛切に感じました。

厳島神社では、例の鳥居がこれまた補修工事中でして、全景の姿が見られずダブルパンチでした。

別称「鯉城」について

広島城があった一帯は昔「己斐浦(このうら)」と呼ばれ、嘉字地名とされる前は「鯉」であったと言われていることから、この名がついた。一説には堀にたくさんの鯉がいたからとも、天守が黒いからとも言われる。

市内中心部にある施設に鯉城を冠した名前が多い。鯉城通り・鯉城会館、鯉城高校(現広島国泰寺高校)、鯉城グループなど。また鯉城から「広島東洋カープ」(英語で鯉がCARP)のチーム名が付けられた。ちなみにカープが毎年シーズン前に必勝祈願へ訪れる広島護国神社はこの城址公園内にある。



ひろしまじょうか えびょうぶ  
広島城下絵屏風(部分) 広島市指定重要有形文化財



# 172 三原城

--- 続100名城 ---  
2020.11.18



別名:  
浮城(うきしろ)  
玉壺城

三原城は小早川隆景が三原湾の島を繋いで水軍の拠点として築いたのが始まりです。  
やがて村上水軍は三原の立地が水軍統括上で重要になってくると、新高山城(続100名城No.173)から居城を移し、広島藩の支城として江戸期を通じて維持された。が、明治の廃城令により建物はすべて撤去された。本丸上には山陽新幹線 三原駅が造られ、往時「浮城」とまで呼ばれた海城感は失われた。  
現在は、駅周辺に天主台と呼ばれる巨大櫓台と水堀、そして舟入櫓跡など幾つかの石垣が断片的に残っている。



FB - 099

この三原城は長篠城跡同様、JR線が天守台横を通り天守台以外は全て有りません。城跡の登城口がJR構内からというのにも驚きで、日本で一番駅から近い城跡と思います。  
町中には石垣などの遺構があり、出来るだけ残していこうと市全体で取り組んでいるようです。

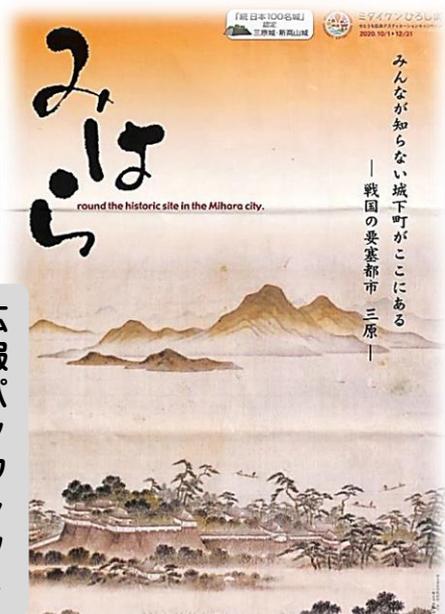


三原駅高架下の本丸石垣

JR(在来・新幹線)

明治時代の三原城古写真

広報パンフレット



JR構内登城口



天守台からのパノラマ写真



紙本着色備後国三原城絵図(江戸時代末期:個人蔵)に描かれた三原城跡

# 173 新高山城跡

にいたかやま

--- 続100名城 ---

2020.11.18



別名： 小早川氏城跡

毛利元就の三男小早川隆景は、12歳で竹原小早川の城主となり、その後、沼田小早川を相続し二つの小早川氏をまとめました。1年後、副壘としていた沼田川対岸の砦を修築し“新高山城”を築き、約45年間本拠として使いました。今も水を湛えている本丸・釣井の段・番所・鐘の段・東の丸などの跡が残っています。この新高山城跡・高山城跡は共に、国史跡に指定されています。



FB-100

## 登城口にある案内看板



## 一口メモ： 暗号命令(ニイタカヤマノボレ1208)について

1941年12月8日の真珠湾攻撃で使われた暗号は、「ニイタカヤマノボレ1208」で有名です。

暗号「ニイタカヤマ」はこの続名城「新高山城」のものではなく、当時日本領であった台湾にある山の名称だったのです。

高さが4000m少々で、富士山よりも高く、当時は「日本最高峰」の山で、その頂上を目指せ(攻撃せよ)という意味でした。富士山は日本で2番目の山だったのです。今この山は「玉山」と言う名前になっています。



新高山空撮(観光ナビ)

## 史跡 小早川氏城跡(新高山城跡)

指定年月日 昭和32年(1957年)12月11日

所在地 三原市本郷町本郷・船木

